

# 市民のために 何ができるのか

議員研修会を2月18日に開催

新潟県立大学国際地域学部  
の田口一博准教授を招いて議  
員研修会を開催した。  
田口先生は、高梁市の議場  
について、机やマイクなどを  
自由に配置できる所は、市議  
会では他に例がない。また傍  
聴席が議員席に近いことなど  
から、高梁市の議場は市民に  
身近な存在であり全国に誇れ  
ることだと話された。



議場を使用している研修会

あり、議員は地域に出て調査  
を行うことや、市民の声を聞  
くことが大切である。議案に  
ついては、公聴会や参考人の  
招致を行い、議会としてまち  
の現状を考え、将来はどうあ  
るべきかの目標を持ち、多样  
な意見の中から導き出された  
答えを積極的に議会が提案す  
ることも必要であると述べら  
れた。

最後に、議会改革とは「議  
会や議員が『市民・まちのた  
めに何ができるのか』であ  
る」と締めくくられた。

## 気になるスポット

The spot  
of  
Takahashi

### 松山城を望む見晴台

標高400m。松原町神原地内、かぐら街道と県道の交差点の一角、松山城を望む見晴台からの眺望です。この見晴台は昨年、松原地域まちづくり推進委員会により設置されました。眺望もさることながら、冬分の日の出や雲海が美しく、写真愛好家の方の姿をみかけることもちらほら…。ちょっぴりお城の姿は小さいですが、これからは新緑の美しい季節。写真ファンの方も、そうでない方も、かぐら街道のドライブがてら足を運ばれてはいかがでしょうか？



## 編集後記

今年のゴールデンウィークは、休み都合によっては例年になく長かったとか。家族サービス、田植えの準備、休みに関係なく仕事などなど、さまざまな連休模様があるようです。

市議会だよりも、新メンバーになって2回目の発行となりました。この度の新年度号では、議会広報調査特別委員会の視察成果を踏まえて、大幅な紙面のリニューアルを行ったところ。これからも市民の皆さんとのつながりを大切に、現状に満足することなく新しいアイデアを盛り込みながら、読んでもらえる紙面づくりに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。 宮田 公人

編集  
議会広報調査特別委員会

- 委員長 宮田 公人
- 副委員長 宮田 好夫
- 委員 川上 博司
- 委員 森田 仲一
- 委員 石部 誠
- 委員 石田 芳生
- 委員 石井 聡美

☆ご意見は「こちら」まで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

TEL 0866-21-0276